

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(173) 議事録

日 時	令和元年9月3日(火) 18:30~20:45
場 所	閑上公民館会議室(2階)
出席者	■針生勉 ■今野義正 ■阿部ひで ■今野慎介 ■南部比呂志 ■宇佐美久夫(途中退席) ■千葉洋子 ■出雲隆 (事務局)UDW榊原、コンサルタント2名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名 みやぎ連携復興センター 佐藤氏、沖澤氏
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. マラソンソフトボール大会決算報告 3. 今後の進め方について 4. その他
資 料	資料-0 次第、第172回世話役会議事録案 資料-1 マラソンソフトボール会計報告 資料-2 閑上地区タウンマネジメントの方向性&震災備忘録 ※ みやぎ連携復興センターからの提供資料

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第172回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・第6次名取市総合計画の地区別懇談会の案内(10/9(水)19時~閑上公民館)があった。
- ・9/22 閑上西地区住民有志による集会開催の報告があった。

<前回からの動き>

- ・閑上西地区納涼まつり(8/31(土)14時~)について報告があった。

2. マラソンソフトボール大会の報告

- ・最終的な会計報告があり、残金については協議会口座へ入金する。
- ・開催報告のニュースレターについて確認を行った。

3. 今後の進め方について

- ・針生代表から資料の説明を行い、今後のまち協のあり方、必要性についての議論を行なった。
- ・みやぎ連携復興センターから他地域での取り組みや課題についての説明があった。

4. その他

- ・秋祭りは例年と同規模で開催する（申し込みを行なう）。
- ・議事録（172）についての修正事項。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月17日（火）とする。

次回予定:世話役会(174)9/17（火）18:30～ 名取法務局2階会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第172回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第172回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・第6次名取市総合計画の素案がまとまり、素案内容についての懇談会を各地区で行なう。閑上地区については10/9(水)19時から閑上公民館で地区別懇談会を開催するので、都合のつく方は出席して欲しい。各地区の日程や会場等詳しい内容は広報に載るので見て欲しい。
- ・8/31(土)14時から閑上西地区の納涼まつりを閑上小中学校で開催した。時間がない中での準備だったが盆踊りや流しそうめんなどを行い総勢158名の住民に参加していただいた。子どもたちも多く集まった。準備に関しては「もりあげ隊」として西地区25名の住民が協力してくれた。
- ・9/22には協力してくれた住民が集まり、今後の活動について話し合われる。

2. マラソンソフトボール大会の報告

⇒支払い確定した為、会計報告をした。また、ニュースレターについて説明を行なった。（事務局）

- ・4時間開催したことや、勝敗・点数等も報告として文章に盛り込む。
- ・集合写真を文面に掲載する。
- ・協賛の企業名は正式名称で記載する。有限会社・株式会社の名称は省略するのか記載するのか統一する。

⇒マラソンソフトボール大会の反省点について

- ・開催実績をもとにマラソンソフトボール大会の運営面において反省点をまとめておく必要がある。
- ・閑上小中学校屋外トイレについて「トイレトペーパーが無かった。」という話がきていた。

→途中でそういう声が出てきたので、出雲さんの奥様に買出しに行ってもらった。気付かなかったが、そういう準備も必要だったこと等、反省面については整理する必要がある。

- ・岐阜県で24時間ソフトボール大会の記事があり、子どもや高齢者も含めた全員参加の工夫等、参考

になる面も色々あった。

3. 今後の進め方について

<針生代表の資料説明>

- ・タウンマネジメントをどうすればいいのか？針生の資料を叩き台に話し合っていきたい。進め方を論議する。
- ・中央町内会も含め自治会等も立ち上がってきている中で、基本的には「自分で出来ることは自分で、無理なら一緒にやる。
- ・みやぎ連携復興センターから佐藤さん・沖澤さんが出席してくださっているので、県内でのいろいろな話を聞いて、集めて話し合いをする。

【みやぎ連携復興センターより、佐藤さん・沖澤さんから提供資料の説明】

○小規模多機能自治（資料参照）

- ・多くの事例は人口が少なくなり自立が困難になってきた問題から始まった。いくつかの小学～中学単位でいろんな人が協働して自治を作っていく。
- ・市民協働のまちづくり。事務局的なものを担っている。公民館の指定管理は行なっているが、細々とやっている。事務局は有償で3名。会費や補助金で事業を行っている。
- ・山形県でも実践。住民がNPO法人の会員。全住民(中学生以上で回答可能な人)にアンケートを実施。回答が多いものから、解決していく。地域住民がどんどん話をしていくために、まち協はファシリテーターになる。

<針生代表の資料に対して議論>

- ・まち協がこれからどうしていくのか？今は、行政と一緒にしているが、今後こういったものをすればいいのか？0からスタートし、名取がまとまっていけば良いと思う。自転車の貸し出しなどあってもいいと思う。
- ・来年度に向けて、行政区がなくなりエリアマネージャーができる。これまでの区長がなくなり、それに対してアンケートが行われた。これまで区長が担ってきた広報だよりの配布は民間に委託することとなり、区長の役割として市役所と住民のパイプ役の役割は残る。10月に全区長に説明会が行われ、そこで決まる。復興交付金がなくなる今、どうするのか、収支のバランスなど考えなくてはいけないと思う。
- ・新たな組織もあれば、昔からの組織もある。既存の組織もうまく活かしていくべきだと思う。役割を認識してもらい、深く関わっていけるように手助けをする。町内連合会は必要なのか？動いているものがある中で、住民に必要な組織にしていくべきだと考える。
- ・地域コミュニティ作りのベースは町内会である。実際大事なのが町内会の班編成だと思う。うまくいくのは核になるものがある。閑上での町内会が単独でできるのか見守る必要はある。
- ・集合住宅の組合は崩壊寸前だと聞いており、コミュニティ形成の役割は果たせていないようだ。組合長は次年度、継続したくないと言っている。共益費等の集金のために組合を作ったが、住民同士のコミュニケーションがなく、周りの住民も協力的ではないと聞いている。どっと・なとりがあるからぎりぎりやれている。中央町内会はうまくやれていると思う。

- ・それをふまえて連合町内会があるといいと思う。集合住宅だけでは、手伝いなどに参加する人が少ない状況で、団地だけではやっていけない。住民だけではなく、企業も巻き込んでやる必要があるのではないか。
- ・閑上の町内会にばらつきが出ないように、連合町内会を作る。しかし、うまく機能している町内会にメリットはあるのか？
- ・重要ではあるが、今のまち協の話し合いは来期に向けてまち協をどうするか？だと思う。まち協の役割は終わったと思うので、復興完了宣言でどうするのか？解散後どうするのか？まち協の実力、まわりの評価など仕分けして話したい。自分は今後、荷が重過ぎると思うので世話役は出来ない。協力しないわけではないが、しんどい。
- ・連合町内会が必要かを見極める。必要が無いのであればまち協が解散しても良いと考えている。ただし、これまでやってきたことを残さなければいけないと思う。町内会同士、連合できるかはわからないが、それを結ぶ役目ために連合会が必要だと思う。
- ・現状ではまちづくりを担う NPO が無い。やる覚悟はあるのか？なだらかなものをつくれれば良いと思う。各団体にとってもメリットを示さなければ動かない。我々が何をしたいのか。閑上を良くしたいために、お祭りやイベント等がないと閑上はまとまらないと思う。伝承をやりたいならその方法を考えるなど、伝統のものを企業と連携してやる。過度の負担にならず、メリットのあるものを提示していく必要性を感じる。(名取市)
- ・閑上は箱物や公園などモノ多すぎる。でも折角出来ているのでそれを活かす事を考えていく必要がある。維持管理に人手が掛かるのであれば、連合会が発信で、求人などが出来るようにするなど。
- ・いろんな人に話しに行くのに、説明できるものの話し合いをしたい。
- ・正直、色々やっている余裕がないので、今の形でこれ以上業務量を増やすことは出来ない。
- ・議論している内容が具体過ぎる。まち協が解散してどうなるのか？自分たちが理想とする閑上にするためにどうしたい？その為にはどういう組織が必要？既存の組織で充足するのか、新たにつくる必要があるのか？順序だてて議論していく必要がある。まずは自分たちが描く「理想の閑上」に必要なものを考えることが先ではないか。(事務局)
- ・ビジョンを持っていて、それをするのに何をしたいのか？を考えていこう。
- ・①やるべきこと②やりたいこと③できること。今は①と②を議論していけたらいいと思う。(事務局)
- ・例えば、まち協は今年度で解散する。その前にいろんな人にコンタクトを取り、話をして、同調してもらえる人にやってもらう。新しく組織をつくる。次に向けてのまとめをする。
- ・まち協が必要かどうかをまずは考える。まち協役割は終わっていると思う。役所の仕事はハードまで、これからのまちづくりについては次のステップだと。
- ・今までのまち協は役割を果たしている。課題・ビジョンを残す。達成する為に組織は必要だと思う。8年間できなかったことができた。それを残したい。(事務局)
- ・今後、公民館を動かしてやっていくべきだと考える。地区民運動会を前は公民館が主体でやっていた。
- ・来年、また人の流れがかわってくる。そのときに組織があるかないかでは違う。解散した後に、0から作るのは難しい。少しでも残しておきたい。盆踊り等、各地区でやるのではなく1箇所で大き

いものをする方が良いと考える。それをするには連合体がないと難しいと思う。

- ・引き継いでやってほしいものを整理する。やろうとしてできないところ、やらなくていいところも整理する。それをやっておくだけでも違うと思う。
- ・ソフトボールや地区民運動会は、公民館が中心になってやった方が良くと思う。それにまち協が協力するという形が望ましい。
- ・公民館主導は必要だと思う。立派なものができるも活用しきれていないと思う。
- ・昔は公民館運営委員会があり、11の町内会が入っていた。
- ・ソフトボール大会も、参加に子供の参加が少なかったのが残念だった。
- ・きっかけであって、いろいろな話をしていかなければならないと思う。まち協業務のたな卸しが必要だと考える。(UDW)

4. その他

- ・秋祭りは昨年と同様規模で事務局の方で提出しておく。

以 上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月17日(火)とする。

次回予定:世話役会(174)9/17(火)18:30～ 名取法務局2階会議室